

令和2年3月6日

大東市長 東坂 浩一 様

大東市産業振興市民会議
会長 山田 茂

大東市産業振興市民会議からの中間報告について

大東市産業振興市民会議では、本市産業振興の方策について各委員が議論を重ねてきました。

本日、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1. 今期（令和元年度・令和2年度）の大東市産業振興市民会議について
 - ・10年後の大東市の産業振興について基本指針の策定
2. 令和元年度（全4回）の内容について
 - ・今期2年間で10年後の大東市の産業振興について基本指針の策定することを決定
 - ・「産業振興と自治体」大阪市立大学 本多教授による講義
 - ・「関西企業フロントライン Vol.14」近畿経済産業局 足立課長による説明
 - ・10年後の大東市の産業振興について KJ法を用いたブレインストーミング
3. 委員からの意見（抜粋）

多様な人材

- ・子育て世代の女性が働ける会社がいっぱい
- ・高齢者の知恵が活かせるまち
- ・新しいアイデアを持った人（若者・外国人 etc.）がトライできるまち
- ・外国人就労者に人気なまち
- ・引きこもりの方がチャレンジしやすいまち

様々な連携

- ・皆が見られる大東市のビッグデータによるコラボ・企業連携

- ・産学連携、産業に強い教育（小・中・高）
- ・官民交流が活発
- ・市内企業で合同入社式、研修等を行い若手の横の連携

働き方・職場環境

- ・新しい働き方を率先するまち
- ・AI とヒューマンスキルのバランスがとれている
- ・働く場所、住む場所、食事する場所が近接
- ・在宅ワーク・リモートワーク

4. 令和2年度のスケジュール（案）

